

# 環境に関する市民アンケート調査結果 (中間報告)

平成22年6月実施

北広島市市民環境部環境課

# 1 調査のあらまし

## (1) 目的

北広島市民が環境についてどのように感じているのかなど、意識の傾向を調査する目的で実施した。前回の調査（平成10年度）と同様の問題も一部用意し比較も行う。

## (2) 調査方法

- 調査地域 北広島市全域
- 調査対象者 北広島市に住む満20歳以上の方（6月1日現在）
- サンプル数 1,000
- 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- 実査方法 調査票を郵送し、同封した返送用封筒により郵送回収
- 調査期間 平成22年6月10日～6月24日
- 回収数（率） 420（42.0%）

## (3) 回答者の基本情報について

### ① 性別

- 男性 159（37.9%）
- 女性 239（56.9%）
- 不明 22（5.2%）

### ② 年齢

年齢	回収数	構成比率
20代	20	4.8
30代	64	15.4
40代	68	16.3
50代	74	17.7
60代	106	25.4
70代	85	20.4

### ③ 回収した調査票の地区別構成

地区	発送件数	比率（%）	回収件数	回収率（%）
東部地区	269	26.9	118	43.9
大曲地区	264	26.4	89	33.7
北広島団地地区	296	29.6	137	46.3
西の里地区	93	9.3	33	35.5
輪厚地区	78	7.8	35	44.9
（不明）			8	
	1,000	100	420	

#### ④ 現居住地での居住年数

居住年数	回収数	比率 (%)
10年未満	95	22.6
10年以上20年未満	108	25.7
20年以上30年未満	91	21.7
30年以上	89	21.2
(不明)	37	8.8
合計	420	100.0

## 2 調査結果

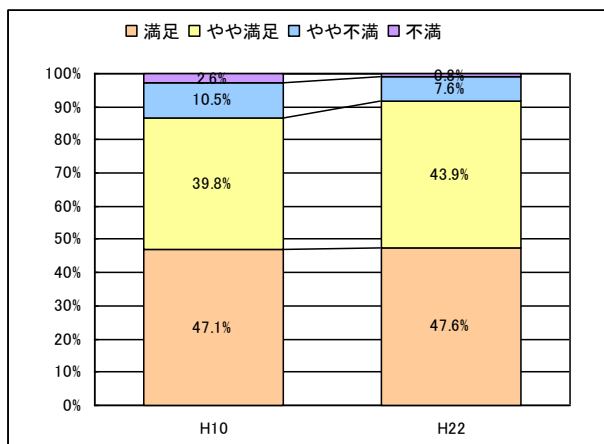
質問2 あなたのお住まい周辺の環境について、以下の①～⑭の項目それぞれに対して、あてはまる満足度に1つだけ○印をご記入ください。

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない
①空気のきれいさ	40.3	37.2	14.6	6.5	0.7	0.7
②におい	20.5	28.6	19.6	21.5	7.8	2.0
③静かさ	37.3	31.6	10.3	13.4	7.2	0.2
④振動	28.8	28.6	17.9	15.5	7.5	1.7
⑤川の水のきれいさ	7.2	17.0	29.9	9.5	4.2	32.2
⑥緑の豊かさ	44.1	37.6	11.8	5.1	1.2	0.2
⑦生き物の多さ	11.4	25.6	35.5	7.2	2.2	18.1
⑧公園や広場の多さ	26.1	36.6	21.3	6.8	5.1	4.1
⑨川の身近さ	7.2	14.4	39.1	11.9	5.4	22.0
⑩まち並みの美しさ	11.7	29.3	33.0	15.2	9.3	1.5
⑪ごみのポイ捨ての少なさ	7.5	24.3	22.4	25.8	16.1	3.9
⑫ごみの不法投棄の少なさ	5.4	20.0	20.0	23.4	22.7	8.5
⑬地域コミュニティの熟度	4.6	24.4	37.4	10.2	8.9	14.5
環境に係わる総合的な満足度	10.0	49.3	23.0	12.9	3.4	1.4

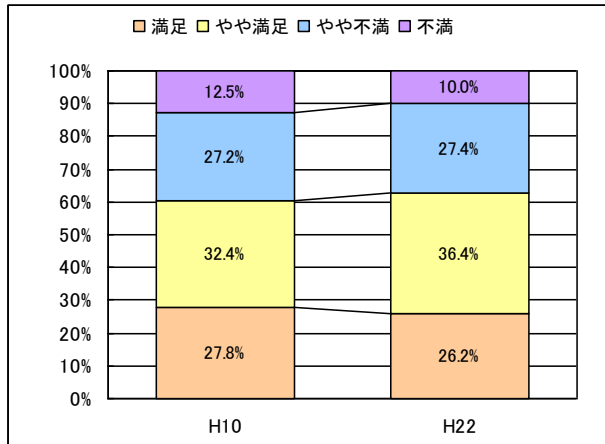
- ・公害関連の①～⑤については概ね満足度が高いといえる状況であるが、「におい」については、ほかと比べて満足度は低い。
- ・「緑の豊かさ」については「満足」「やや満足」を合わせて81.7%、また、「空気のきれいさ」についても「満足」「やや満足」を合わせて77.5%で、この2項目の満足度は非常に高い。これに続き「静かさ」の68.9%、「公園や広場に多さ」の62.7%も満足度は高い。
- ・不満度の大きい項目としては、「ごみの不法投棄の少なさ」で「やや不満」「不満」を合わせて46.1%と約半数が不満を持ち、「ごみのポイ捨ての少なさ」でも「やや不満」「不満」が41.9%で続いており、ごみに関する不満は大きい状況である。
- ・また、もっとも満足度の低い「川の身近さ」は「満足」「やや満足」を合わせて21.6%で、これを裏付けるように「川のきれいさ」については「わからない」と答えた割合が32.2%もあった。

【平成10年調査との比較】<sup>1</sup>

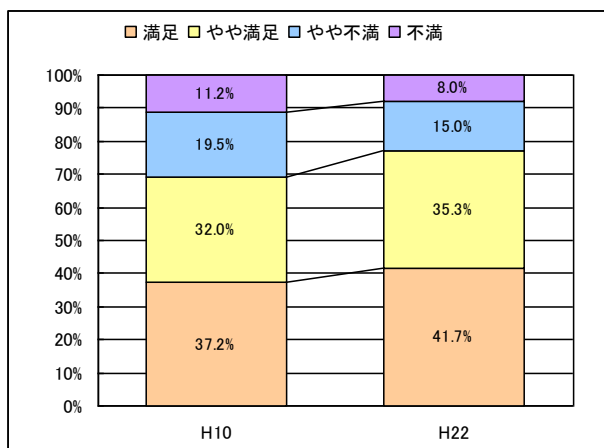
- ・平成10年と比較した場合には、概ねの項目で満足とやや満足を合わせた満足度が高くなっている状況がうかがえる。
- ・しかし、川の水のきれいさや川の身近さに関しては、変化がさほど見受けられない。
- ・また、ごみの不法投棄に対しては、不満足度が増加している。
- ・地域コミュニティの熟度に関しては、「やや不満」が「不満」にシフトしている状況がうかがえる。



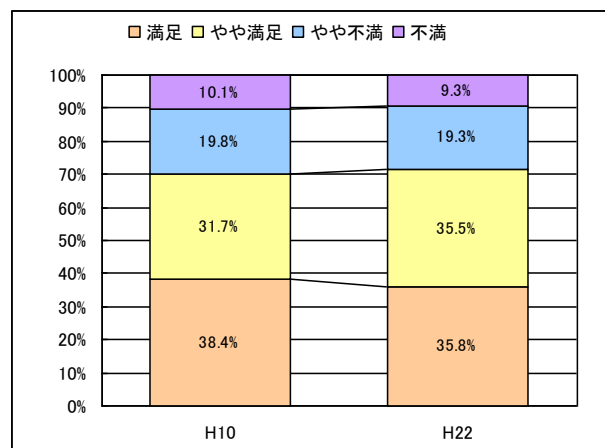
[空気のきれいさ]



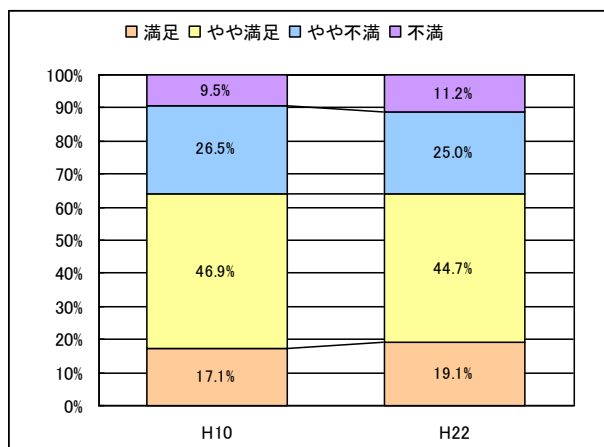
[におい]



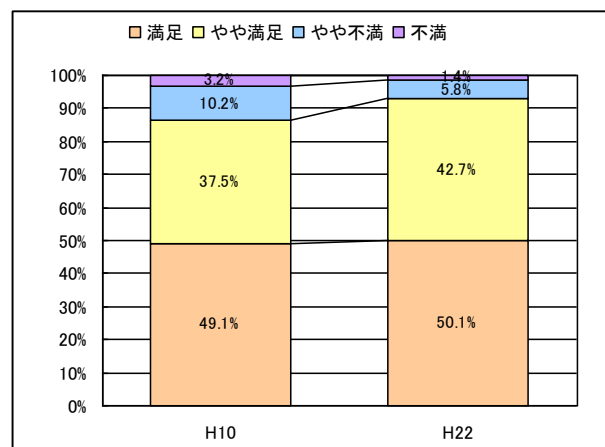
[静かさ]



[振動]

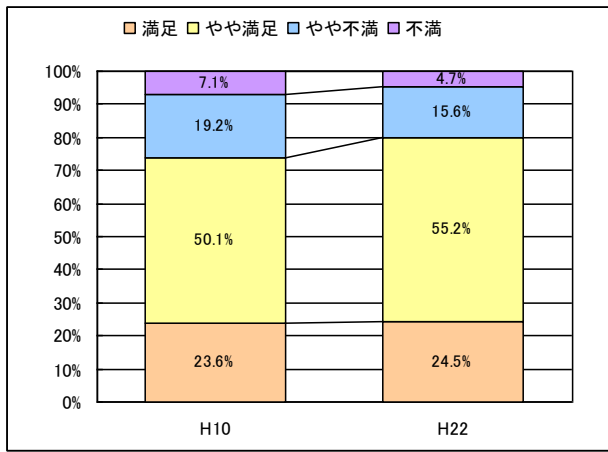


[川の水のきれいさ]

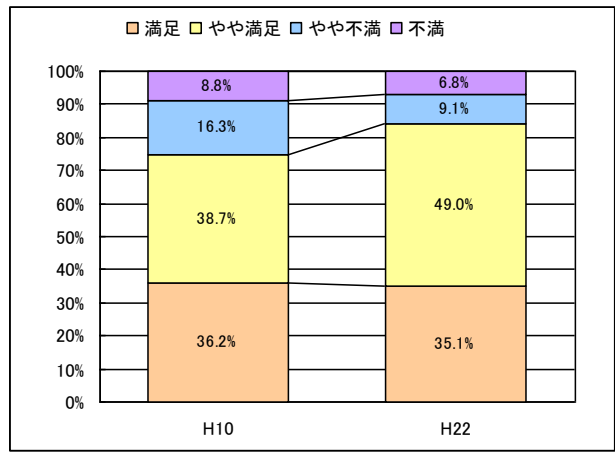


[緑の豊かさ]

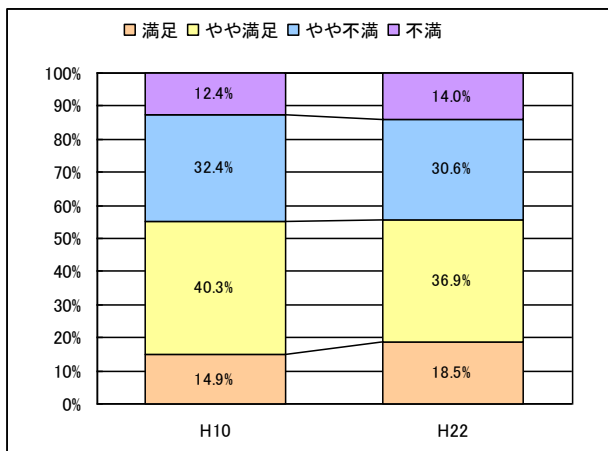
<sup>1</sup> 平成10年に実施した調査と比較するため、「どちらでもない」及び「わからない」を除いて集計している



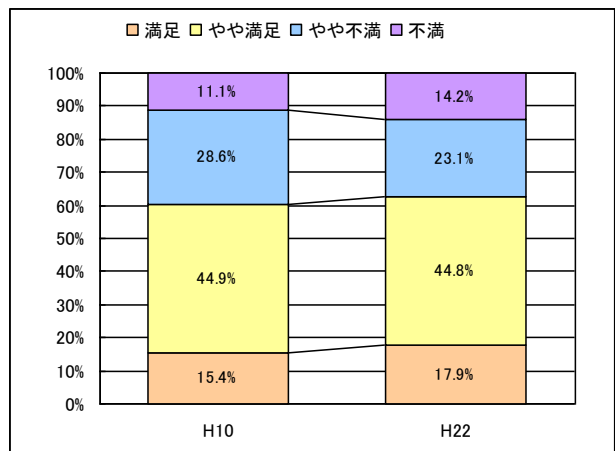
[生き物の多さ]



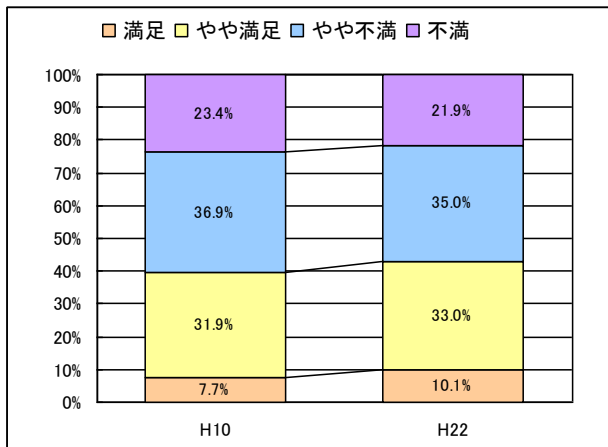
[公園の広場の多さ]



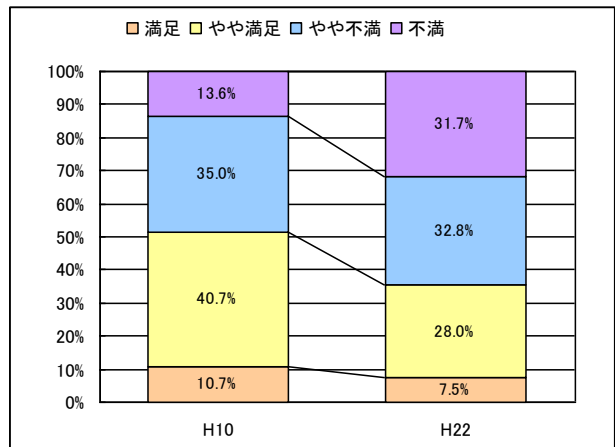
[川の身近さ]



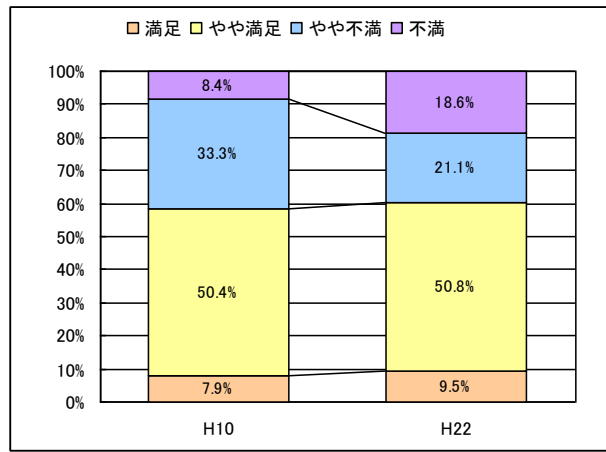
[まち並みの美しさ]



[ごみのポイ捨ての少なさ]



[ごみの不法投棄の少なさ]

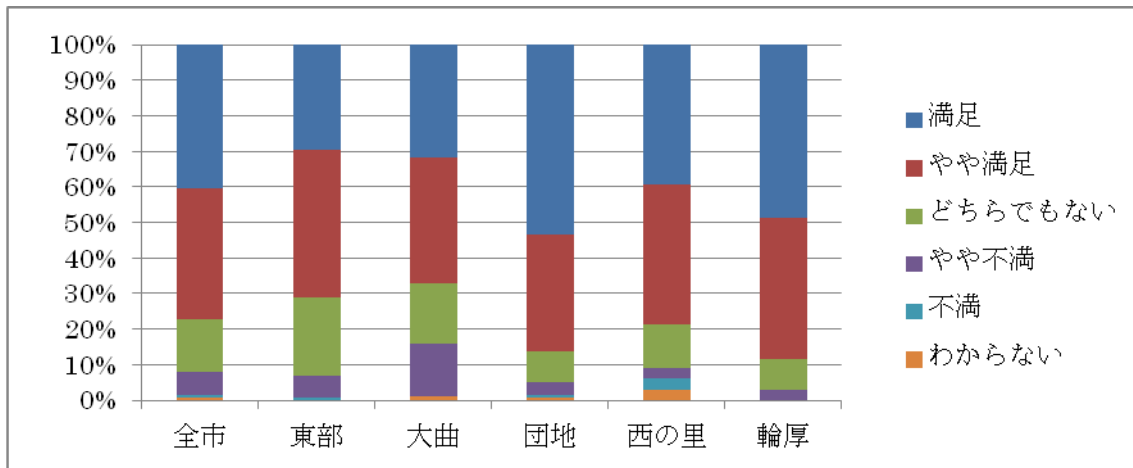


[地域コミュニティの熟度]

【地区別の状況】

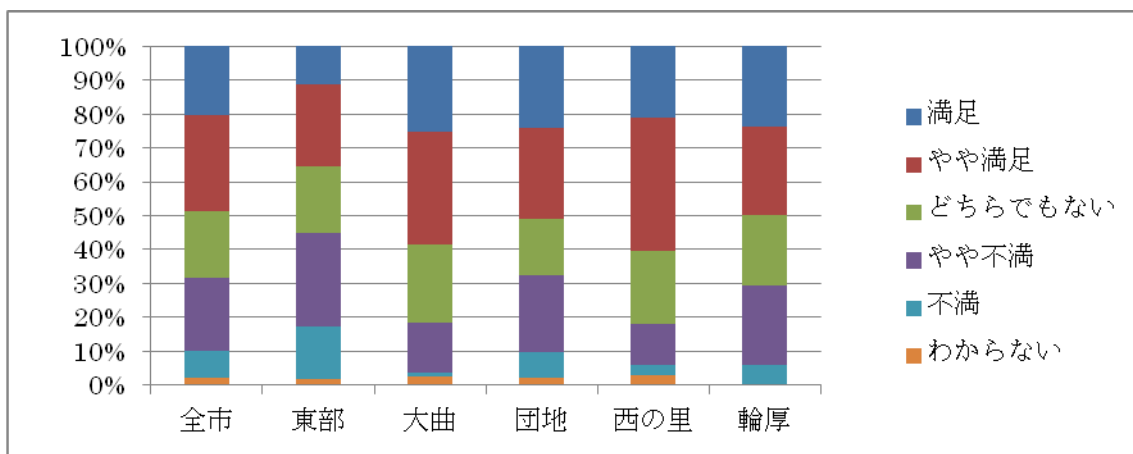
① 空気のきれいさ

輪厚地区、団地地区の満足度が非常に高い。大曲地区は他の地区に比較して不満の度合いが高い。



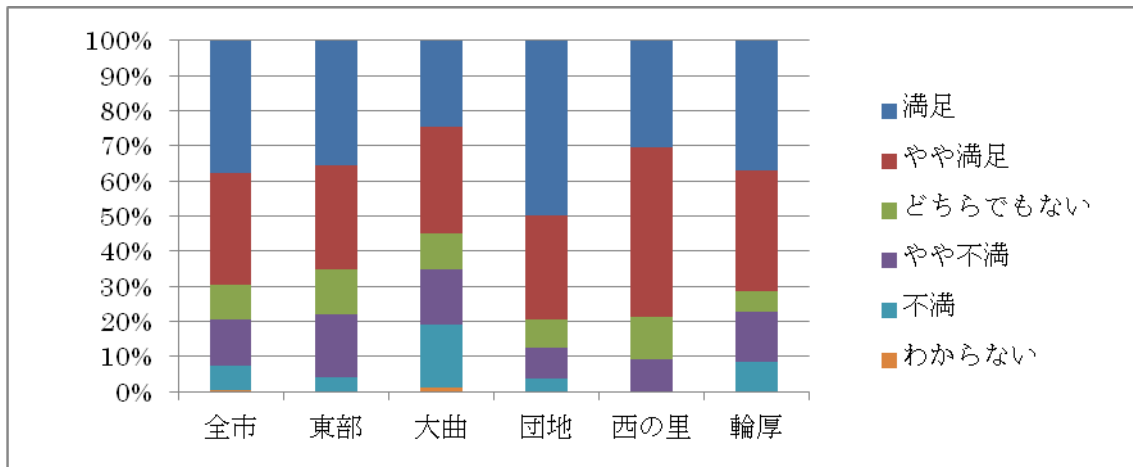
② におい

東部地区の満足度が低い。これは、東部地区の大規模養鶏業者の関係と思われる。



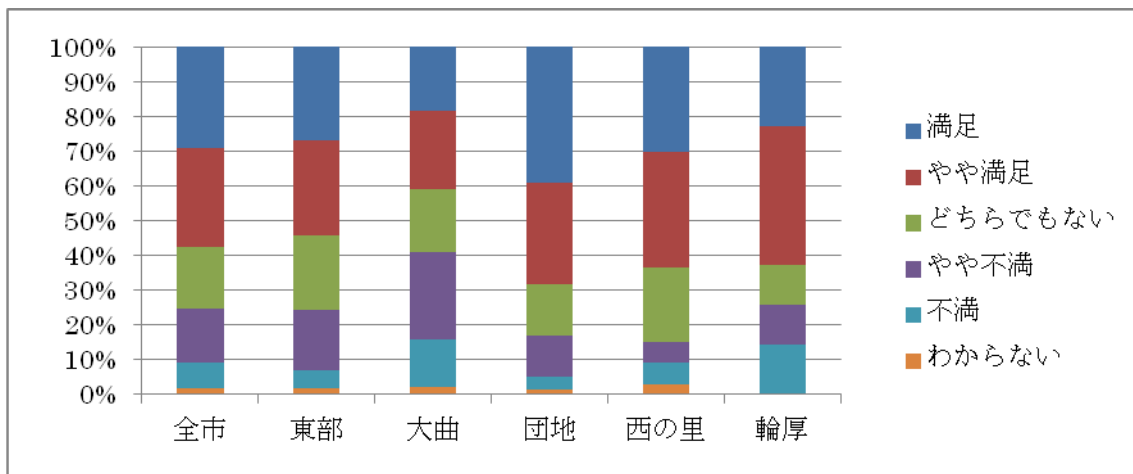
③ 静かさ

大曲地区の満足度が他に比べて低く、団地地区と西の里地区は不満が少ない。  
西の里では、「やや満足」が他と比較して多く、多少の騒音の存在が予想される。



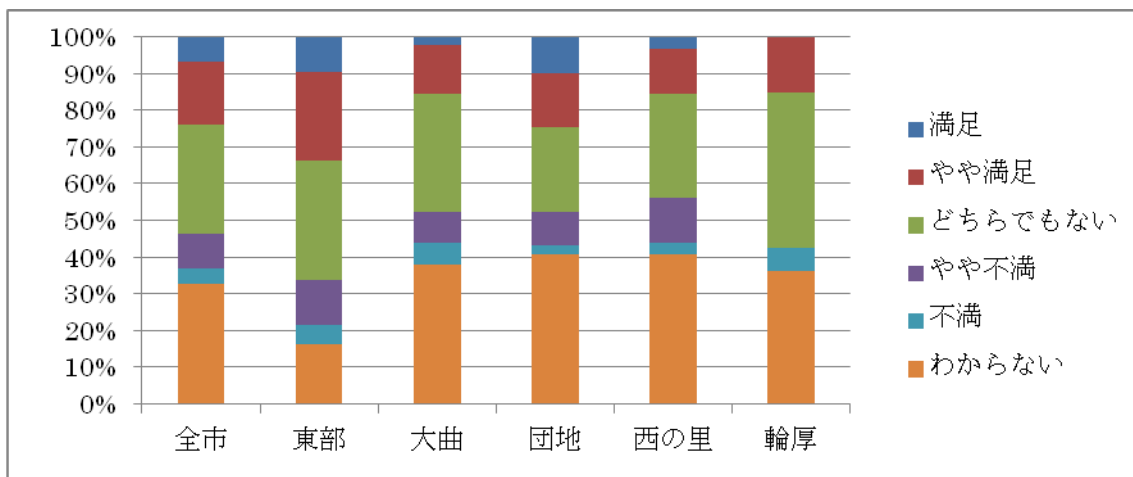
④ 振動

団地地区の満足度が高く、これに西の里、輪厚と続く。大曲地区の不満が大きい。



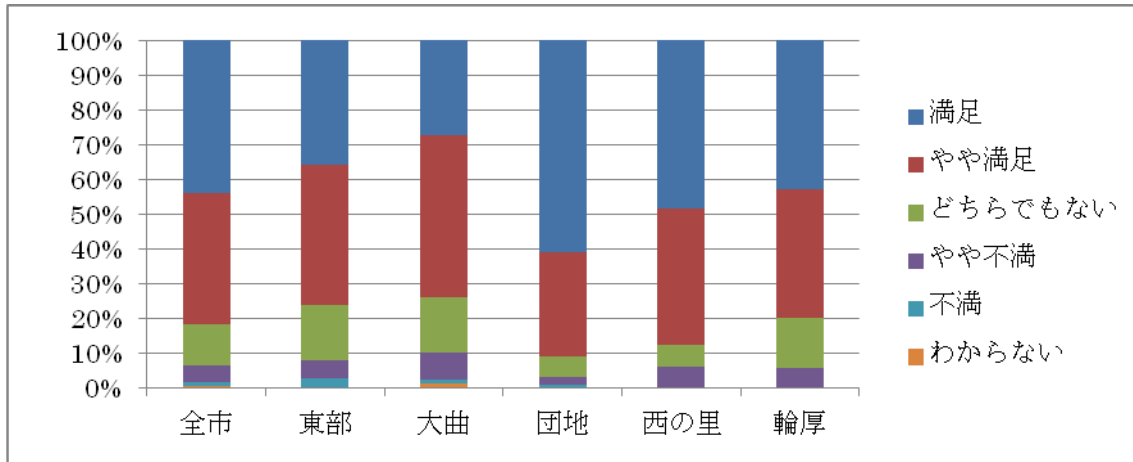
⑤ 川の水のきれいさ

東部地区での満足度が高いが、各地区とも大きな川が少なく、関心が低いと思われる。  
また、「わからない」は東部地区で低く、⑨の結果のとおり川が身近であることを裏付けている。



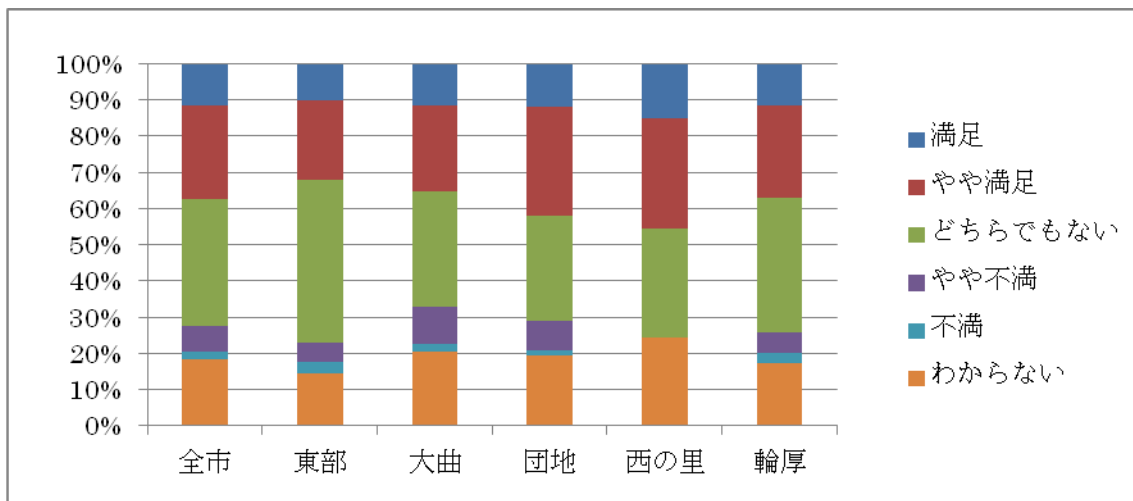
⑥ 緑の豊かさ

団地地区と西の里地区では「満足」「やや満足」の合計が約90%と満足度が高いが、特に団地では「満足」だけで60%という非常に高い数値を示している。



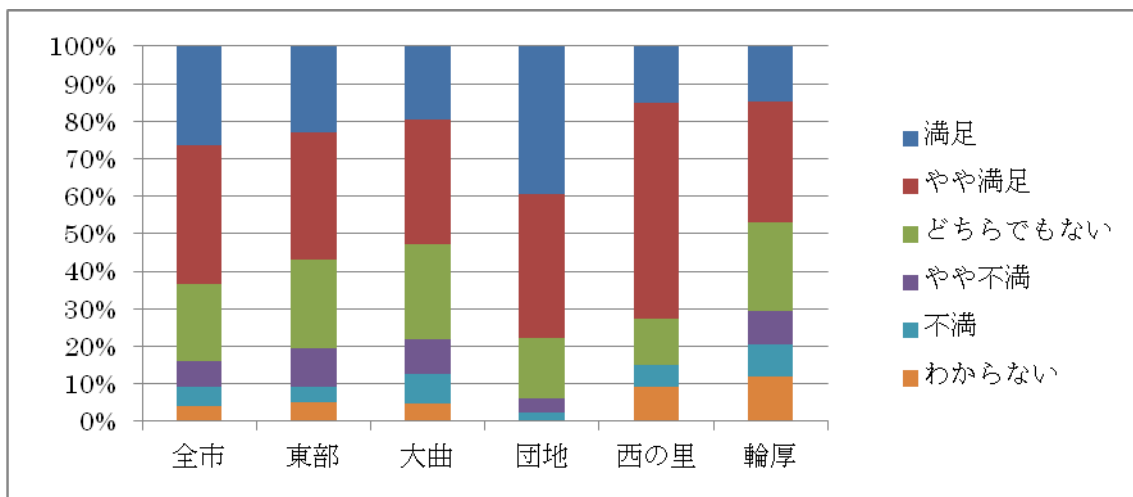
⑦ 生き物の多さ

全体に差は大きくないが、西の里地区では満足度が高く、「不満」「やや不満」が無い。



⑧ 公園や広場の多さ

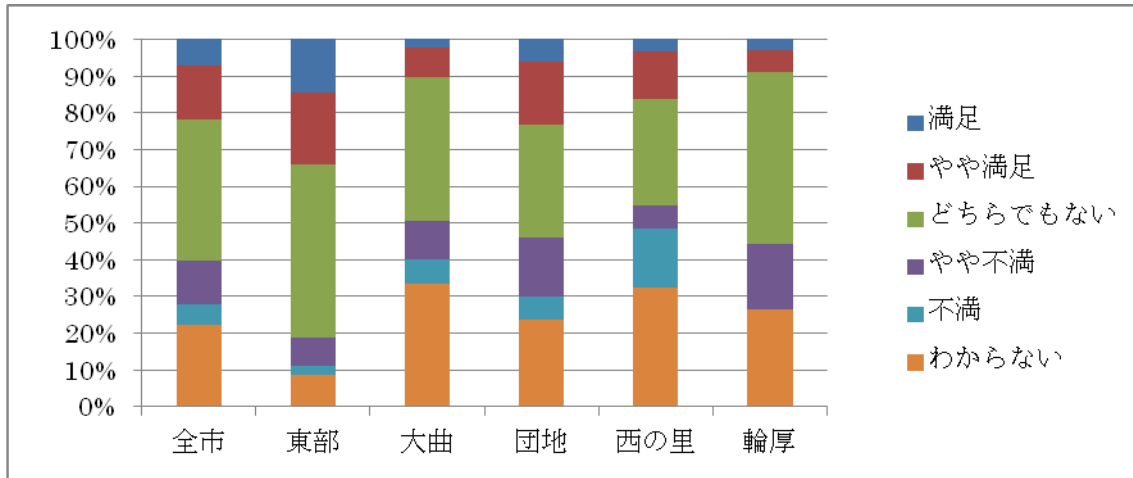
団地地区では満足度が非常に高く、輪厚地区、大曲地区では満足度が低い状況である。





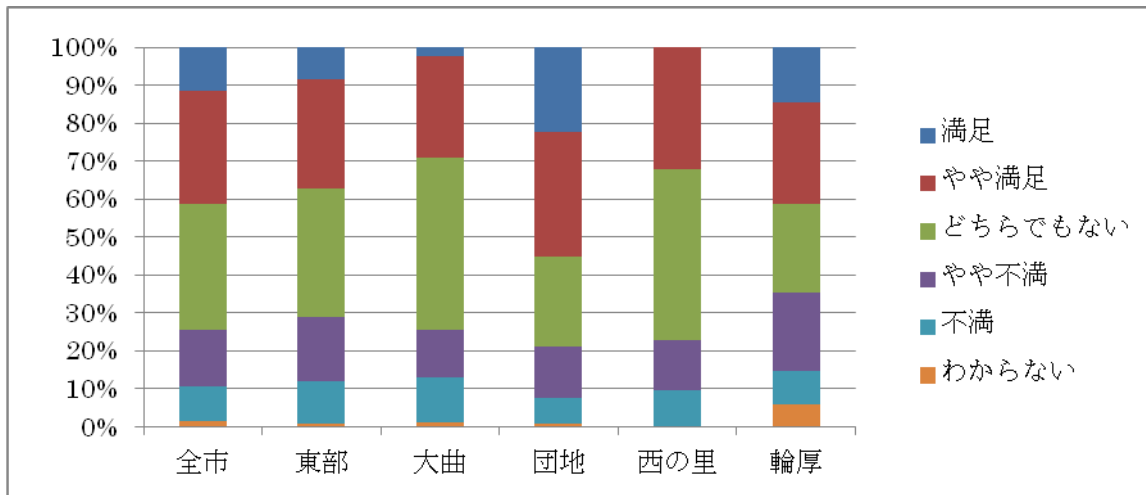
⑨ 川の身近さ

全体に関心や満足度が低いですが、川の多い東部地区では満足度はやや高い状況である。



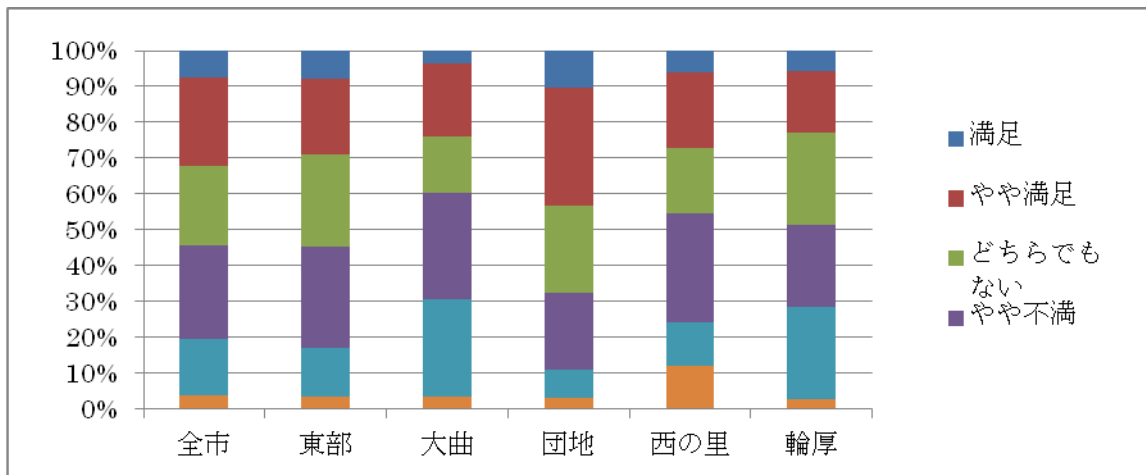
⑩ まち並みの美しさ

団地地区で非常に満足度が高く、輪厚がこれに続くが不満の割合も高く2極分化している。大曲、西の里では満足度が低い。



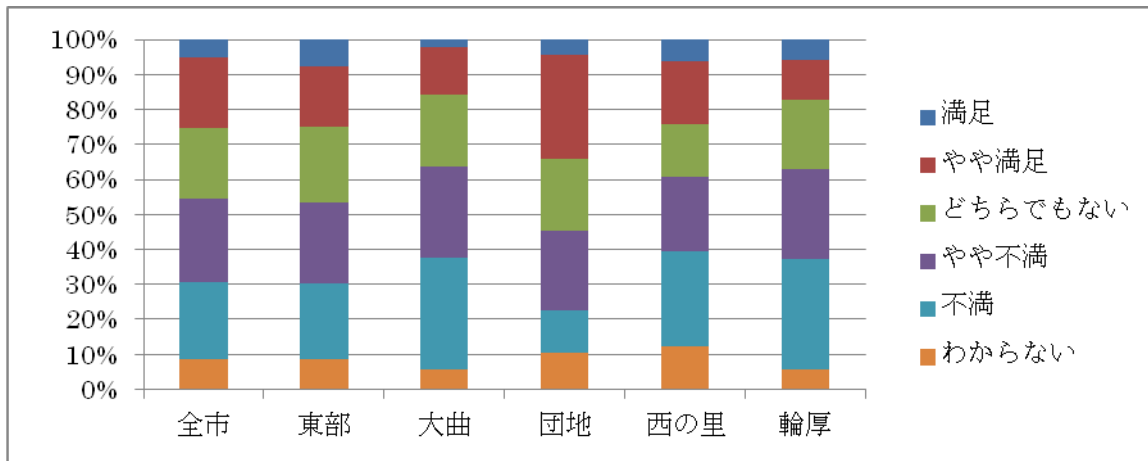
⑪ ごみのポイ捨ての少なさ

全体に不満度が高く、特に大曲、西の里地区の不満度が高い。



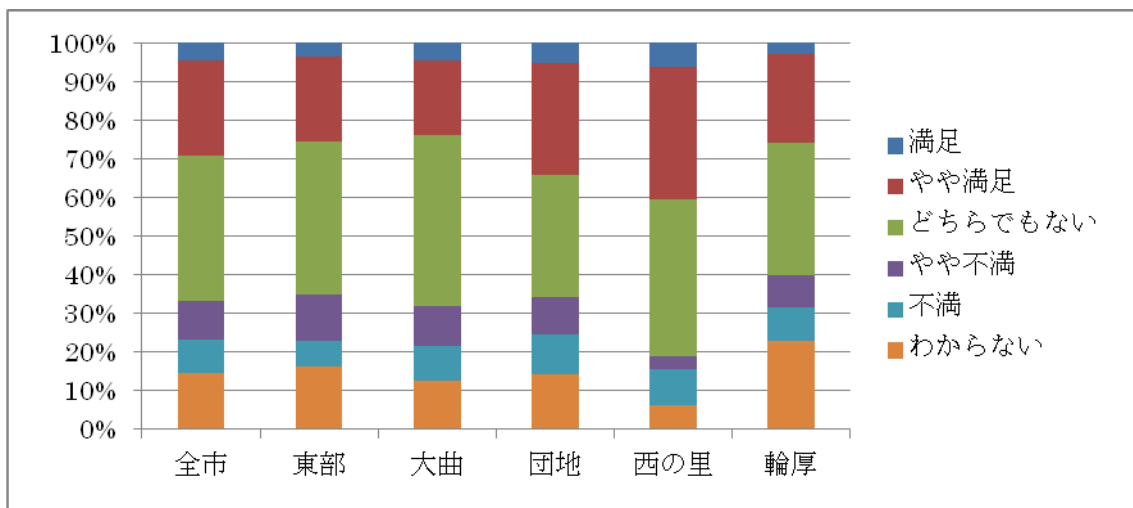
⑫ ごみの不法投棄の少なさ

⑪と同様の傾向だが、より不満度が高く、大曲・輪厚地区では「不満」「やや不満」が6割弱を占める。



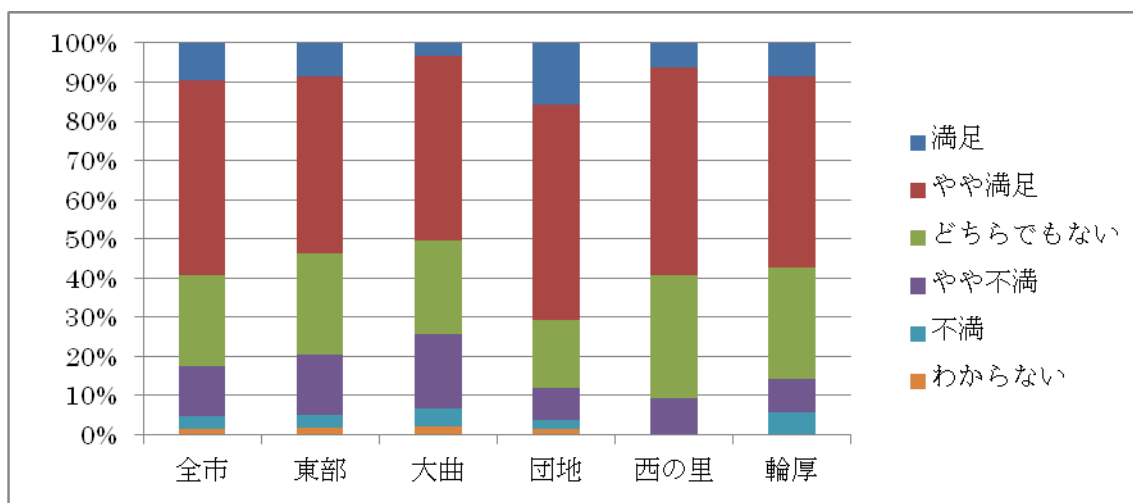
⑬ 地域コミュニティの熟度

「どちらでもない」「わからない」が約半数であり、全体に満足度は低い。大曲が最も満足度が低く、西の里地区の満足度が最も高い。



⑭ 環境に係わる総合的な満足度

北広島団地が最も満足度が高く、「満足」「やや満足」で70%を占めている一方、最低の大曲地区では、50%にとどまっている。



質問3 北広島市の自然やまちの環境について、良い（好きな）点／悪い（嫌いな）点を記入例に従い、枠の中に最大5つまでご記入ください。

好き（良い）な点	250 件
嫌い（悪い）な点	488 件
合計	738 件

もっとも関心の高いものは、市内の道路に関わる項目となっており、嫌い（悪い）と回答している。また、悪臭・騒音・振動の公害についても全体の2番目に関心度が高く、嫌い（悪い）と回答している。

全体の中で3番目に関心度の高いものは景観に対する割合で、この内訳は好感度が約5割となっている。4番目、5番目は公園・緑地、自然環境と続いており、好感度の割合が高くなっている。インフラ整備や都市環境に対する不満が高い一方で、自然環境に対する好感度が高いといった北広島市の特徴を示している。

地域別の特徴として北広島団地地域の良好な公園・緑地、東部地域や大曲地域の道路交通への不満、東部地域での悪臭、その他の地域におけるごみ・騒音・振動への不満など地域の特性がうかがえる結果となった。

総じて、ごみや道路・交通、騒音・振動などの市民の身近な環境に対する関心度が高いことが見受けられるほか、北広島市の特徴として公園・緑地や自然環境への関心度・好感度も高くなっている状況がうかがえる。

[全体集計の結果]

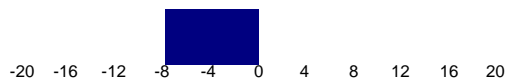

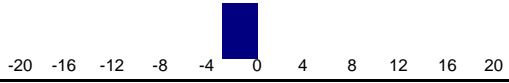
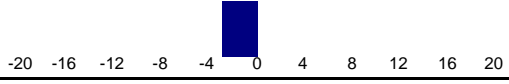








場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
総合結果	道路・交通			94	24	118	20.6%	1
	悪臭・騒音・振動			92	8	100	17.5%	2
	景観			51	41	92	16.1%	3
	公園・緑地			24	59	83	14.5%	4
	自然環境			7	61	68	11.9%	5
	ごみ			66	0	66	11.5%	6
	公共公益施設			16	27	43	7.5%	7
	安全・安心			26	3	29	5.1%	8
	買い物利便性			14	14	28	4.9%	9
	バス交通			21	2	23	4.0%	10
	水辺環境			15	6	21	3.7%	11
	商店街			10	0	10	1.7%	12
	除雪			9	0	9	1.6%	13
	その他			33	15	48	8.4%	-
		合計		351	221	572	100.0%	

[個別集計の結果]

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
北広島市全体 (に関するもの)	ごみ			4	0	4	0.5%	56
	悪臭・騒音・振動			7	2	9	1.2%	19
	安全・安心			0	1	1	0.1%	125
	水辺環境			3	0	3	0.4%	71
	道路・交通			1	5	6	0.8%	36
	除雪			1	0	1	0.1%	125
	買い物利便性			2	0	2	0.3%	92
	公園・緑地			2	2	4	0.5%	56
	自然環境			1	6	7	0.9%	26
	景観			2	1	3	0.4%	71
	バス交通			2	1	3	0.4%	71
	公共公益施設			5	4	9	1.2%	19
	その他			3	2	5	0.7%	47

場所 (~の)	詳細 (~が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
北広島団地 地域	ごみ			2	0	2	0.3%	92
	悪臭・騒音・振動			4	2	6	0.8%	36
	安全・安心			1	0	1	0.1%	125
	道路・交通			5	2	7	0.9%	26
	除雪			1	0	1	0.1%	125
	買い物利便性			1	0	1	0.1%	125
	公園・緑地			2	11	13	1.8%	7
	自然環境			1	4	5	0.7%	47
	景観			4	6	10	1.4%	15
	バス交通			3	0	3	0.4%	71
	その他			1	5	6	0.8%	36

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
東部地域	ごみ			4	0	4	0.5%	56
	悪臭・騒音・振動			3	1	4	0.5%	56
	安全・安心			2	0	2	0.3%	92
	水辺環境			1	0	1	0.1%	125
	道路・交通			11	0	11	1.5%	12
	除雪			1	0	1	0.1%	125
	買い物利便性			6	0	6	0.8%	36
	公園・緑地			2	0	2	0.3%	92
	自然環境			0	2	2	0.3%	92
	景観			4	1	5	0.7%	47
	公共公益施設			0	2	2	0.3%	92
	商店街			5	0	5	0.7%	47
	その他			1	0	1	0.1%	125
共栄地域	ごみ			8	0	8	1.1%	21
	悪臭・騒音・振動			1	0	1	0.1%	125
	安全・安心			2	0	2	0.3%	92
	道路・交通			2	0	2	0.3%	92
	景観			2	0	2	0.3%	92
	公共公益施設			0	1	1	0.1%	125

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
大曲地域	ごみ			8	0	8	1.1%	21
	悪臭・騒音・振動			5	1	6	0.8%	36
	安全・安心			3	0	3	0.4%	71
	水辺環境			3	0	3	0.4%	71
	道路・交通			18	3	21	2.8%	4
	買い物利便性			0	10	10	1.4%	15
	公園・緑地			3	7	10	1.4%	15
	自然環境			0	4	4	0.5%	56
	景観			5	2	7	0.9%	26
	バス交通			3	0	3	0.4%	71
	公共公益施設			1	2	3	0.4%	71
	その他			3	2	5	0.7%	47



場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
輪厚地域	ごみ			2	0	2	0.3%	92
	悪臭・騒音・振動			2	0	2	0.3%	92
	安全・安心			1	0	1	0.1%	125
	水辺環境			1	0	1	0.1%	125
	道路・交通			2	3	5	0.7%	47
	公園・緑地			2	1	3	0.4%	71
	自然環境			1	5	6	0.8%	36
	景観			1	3	4	0.5%	56
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
	その他			2	0	2	0.3%	92
西の里地域	ごみ			1	0	1	0.1%	125
	悪臭・騒音・振動			4	0	4	0.5%	56
	安全・安心			1	0	1	0.1%	125
	道路・交通			0	1	1	0.1%	125
	買い物利便性			1	0	1	0.1%	125
	公園・緑地			0	1	1	0.1%	125
	自然環境			0	7	7	0.9%	26
	景観			0	2	2	0.3%	92
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
	公共公益施設			1	2	3	0.4%	71

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
虹ヶ丘地域	悪臭・騒音・振動			0	1	1	0.1%	125
	道路・交通			2	0	2	0.3%	92
	除雪			1	0	1	0.1%	125
	公園・緑地			1	2	3	0.4%	71
	景観			0	3	3	0.4%	71
	公共公益施設			1	0	1	0.1%	125
	その他			2	0	2	0.3%	92
ホクリョウ	悪臭			8	0	8	1.1%	21
その他の地域	ごみ			14	0	14	1.9%	5
	悪臭・騒音・振動			13	0	13	1.8%	7
	安全・安心			3	0	3	0.4%	71
	水辺環境			2	1	3	0.4%	71
	道路・交通			3	0	3	0.4%	71
	除雪			2	0	2	0.3%	92
	公園・緑地			1	2	3	0.4%	71
	自然環境			2	4	6	0.8%	36
	景観			3	0	3	0.4%	71
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
	公共公益施設			1	5	6	0.8%	36
	その他			3	0	3	0.4%	71

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
国道274号	ごみ			3	0	3	0.4%	71
	悪臭・騒音・振動			13	1	14	1.9%	5
	道路・交通			2	0	2	0.3%	92
	自然環境			0	1	1	0.1%	125
	景観			1	1	2	0.3%	92
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
国道36号	ごみ			2	0	2	0.3%	92
	悪臭・騒音・振動			5	0	5	0.7%	47
	道路・交通			9	1	10	1.4%	15
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
	その他			2	0	2	0.3%	92
エルフィン ロード	安全・安心			1	1	2	0.3%	92
	道路・交通			2	6	8	1.1%	21
	公園・緑地			0	2	2	0.3%	92
	自然環境			0	4	4	0.5%	56
	景観			4	3	7	0.9%	26
	公共公益施設			0	1	1	0.1%	125

場所 (~の)	詳細 (~が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
その他道路	ごみ			7	0	7	0.9%	26
	悪臭・騒音・振動			13	0	13	1.8%	7
	安全・安心			5	0	5	0.7%	47
	道路・交通			28	3	31	4.2%	1
	除雪			3	0	3	0.4%	71
	買い物利便性			0	2	2	0.3%	92
	公園・緑地			0	4	4	0.5%	56
	自然環境			0	4	4	0.5%	56
	景観			7	17	24	3.3%	2
	バス交通			3	0	3	0.4%	71
	その他			2	0	2	0.3%	92
北広島駅	悪臭・騒音・振動			2	0	2	0.3%	92
	安全・安心			5	1	6	0.8%	36
	道路・交通			4	0	4	0.5%	56
	買い物利便性			3	2	5	0.7%	47
	公園・緑地			1	0	1	0.1%	125
	自然環境			0	1	1	0.1%	125
	景観			3	1	4	0.5%	56
	バス交通			2	0	2	0.3%	92
	公共公益施設			3	5	8	1.1%	21
	商店街			2	0	2	0.3%	92
	その他			1	1	2	0.3%	92

場所 (~の)	詳細 (~が)	評価項目					コメント数							
		悪い・嫌い					良い・好き					嫌い	好き	計
公園	ごみ						1	0	1	0.1%	125			
	悪臭・騒音・振動						1	0	1	0.1%	125			
	安全・安心						1	0	1	0.1%	125			
	道路・交通						1	0	1	0.1%	125			
	公園・緑地						8	15	23	3.1%	3			
	自然環境						1	0	1	0.1%	125			
	景観						3	1	4	0.5%	56			
	バス交通						1	0	1	0.1%	125			
	その他						1	0	1	0.1%	125			
北広島市役所	景観						1	0	1	0.1%	125			
	公共公益施設						1	1	2	0.3%	92			
	商店街						1	0	1	0.1%	125			
	その他						4	0	4	0.5%	56			
市内ごみステーション	マナー						6	0	6	0.8%	36			
	分別						2	0	2	0.3%	92			
	不法投棄						1	0	1	0.1%	125			
レクの森	水辺環境						1	0	1	0.1%	125			
	公園・緑地						1	6	7	0.9%	26			
	自然環境						0	13	13	1.8%	7			
河川空間	水辺環境						1	1	2	0.3%	92			
	公園・緑地						0	1	1	0.1%	125			
	バス交通						1	1	2	0.3%	92			

場所 (～の)	詳細 (～が)	評価項目		コメント数				
		悪い・嫌い	良い・好き	悪い 嫌い	良い 好き	計	関心度	順位
地域不明	ごみ			1	0	1	0.1%	125
	悪臭・騒音・振動			11	0	11	1.5%	12
	安全・安心			1	0	1	0.1%	125
	水辺環境			3	4	7	0.9%	26
	道路・交通			4	0	4	0.5%	56
	買い物利便性			1	0	1	0.1%	125
	公園・緑地			1	5	6	0.8%	36
	自然環境			1	6	7	0.9%	26
	景観			11	0	11	1.5%	12
	バス交通			1	0	1	0.1%	125
	公共公益施設			3	4	7	0.9%	26
	商店街			2	0	2	0.3%	92
	その他			8	5	13	1.8%	7
	<b>合計</b>				478	260	738	100.0%

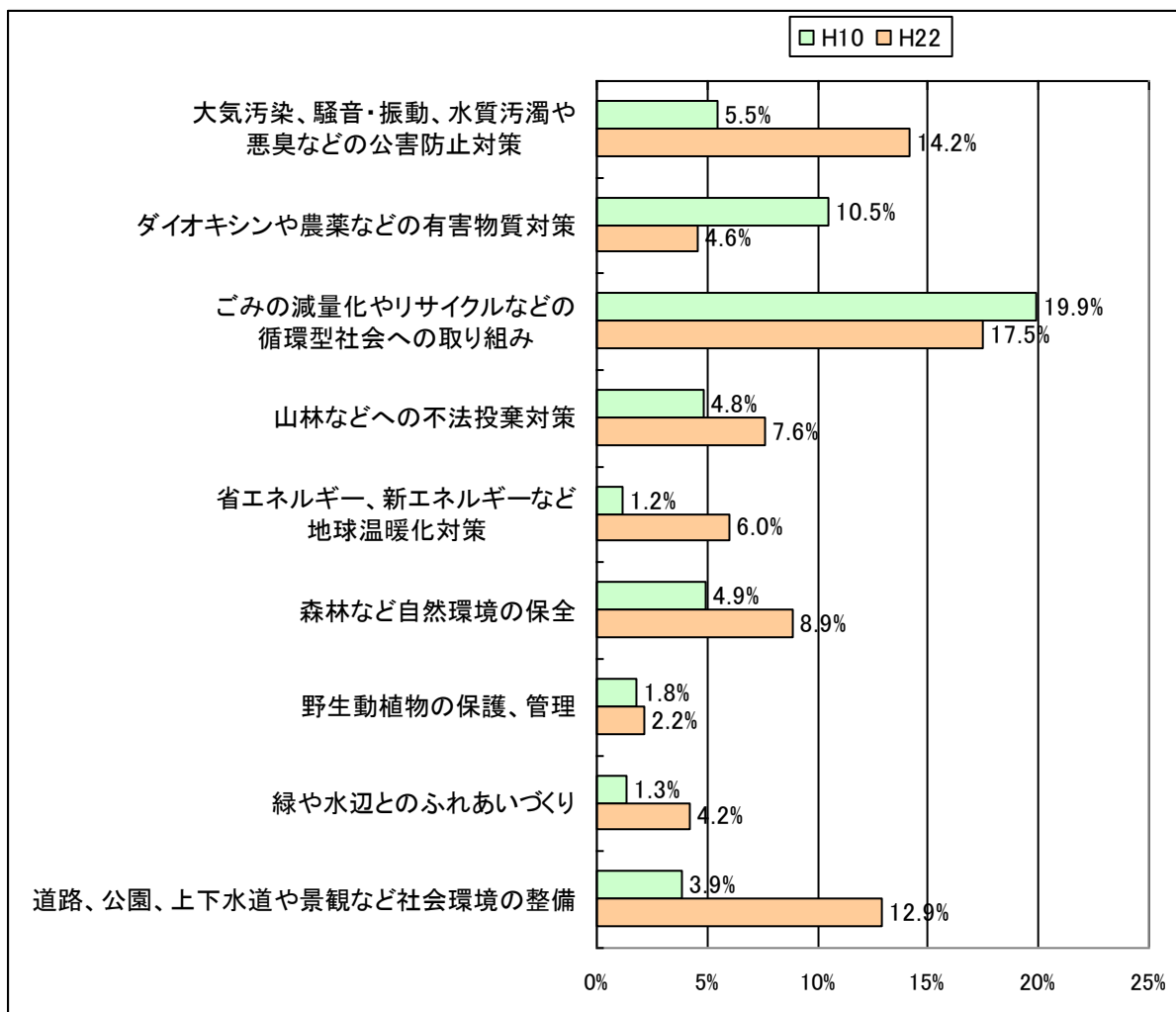
質問4 これから北広島市が優先して取り組むべき環境の取り組みはどんなことでしょうか。次の項目から上位3つまで選んで、回答欄に番号をご記入ください。また、⑫その他の場合は具体的に内容をご記入ください。

	項 目	1位	2位	3位	合計	割合	順位
1	大気汚染、騒音・振動、水質汚濁や悪臭などの公害防止対策	86	35	29	150	13.2	3
2	ダイオキシンや農薬などの有害物質対策	17	23	19	59	5.2	10
3	ごみの減量化やリサイクルなどの循環型社会への取り組み	85	75	36	196	17.2	1
4	山林などへの不法投棄対策	28	38	32	98	8.6	5
5	省エネルギー、新エネルギーなど地球温暖化対策	25	26	24	75	6.6	8
6	森林など自然環境の保全	31	46	39	116	10.2	4
7	野生動植物の保護、管理	3	12	22	37	3.2	11
8	環境教育や学習機会、情報の提供	13	40	33	86	7.6	6
9	緑や水辺とのふれあいづくり	5	27	37	69	6.1	9
10	道路、公園、上下水道や景観など社会環境の整備	66	34	59	159	14.0	2
11	市民・事業者・行政による環境保全の協働の取り組み	24	20	38	82	7.2	7
12	その他	4	4	4	12	1.1	12
	合 計	387	380	372	1139	100	78

- ・「ごみの減量化とリサイクル」が優先すべきとの回答が最も多く、全体の17.2%を占めた。
- ・次いで「道路・公園・上下水道や景観などの社会環境の整備」の14.0%、「大気汚染、騒音・振動、水質汚濁や悪臭などの公害防止対策」13.2%と、身近なことに対する環境が対策を求める声が多い。
- ・「その他」には20件の記載（「その他」を選択しないで記載したものを含む）があったが、その内容としては、高齢者対策や福祉に関するもの、交通や買い物の利便性に関するものに、それぞれ4件の回答があった。
- ・1～3位の順位付けに関して、上位に選択されたもの重要視するよう係数（1位3点、2位2点、3位1点）を乗じて整理すると1の公害防止対策と9の緑や水辺とのふれあいづくりが1つ順位を上げる形となる。
- ・地区別では、団地地区で11の協働の回答が多いこと、輪厚地区で4の不法投棄、10の社会環境の整備についての回答が多いなど、若干の差異があった。

【平成10年調査との比較】<sup>2</sup>

- ・平成10年の調査時に割合が多かった「有害物質対策」は、現在では優先度が低くなっている。
- ・「循環型社会への取り組み」に関しては、優先順位に変動はなく重要となっている。
- ・一方、公害防止対策や社会環境の整備など優先して取り組むものに対するニーズが多様化してきていることがうかがえる。



<sup>2</sup> 平成10年の調査と比較するため、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして総合得点を計算し、割合を算出しており、P.22の割合と一致していない。



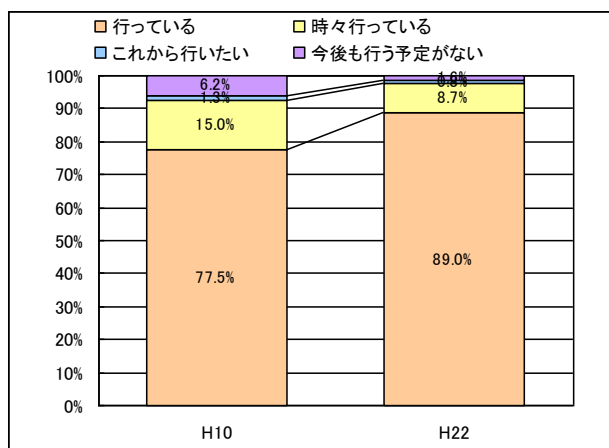
質問5 環境保全に関する①～⑬の取り組みについて、それぞれの項目であなたの実践している状況としてあてはまるものに1つだけ○印をご記入ください。

項目	行っている	時々行っている	これから行いたい	今後行う予定がない	わからない
①近所に配慮して音楽など大きな音は出さないように気をつけている	86.3	8.4	0.8	1.5	3.1
②水を無駄にしないように気をつけている	67.3	26.0	5.2	0.5	1.0
③自家用車の使用を控えるようにしている	23.2	31.4	17.7	17.9	9.8
④自家用車のアイドリングストップを実践している	41.1	24.2	17.7	8.1	8.9
⑤エコ商品を選ぶようにしている	28.0	45.3	16.8	3.1	6.9
⑥ごみを積極的に分別している	91.9	6.9	0.7	0	0.5
⑦エコバックを使うようにしている	88.1	8.2	2.2	0.5	1.0
⑧過剰包装は断るようになっている	59.9	30.3	7.0	0.8	2.0
⑨電気の使用量の削減など省エネを心がけている	56.0	35.6	6.0	1.2	1.2
⑩休日は自然環境にふれるようにしている	24.2	41.7	20.9	4.8	8.4
⑪太陽光発電やバイオマスなど新エネルギーを使っている	1.5	2.1	32.0	41.0	23.5
⑫ごみの清掃など地域の環境づくりに協力している	45.6	34.8	14.6	2.5	2.5
⑬環境問題などを話題にするようにしている	16.6	42.1	21.9	4.8	14.5
⑭自然観察会などに参加している	2.3	8.2	39.0	30.8	19.7

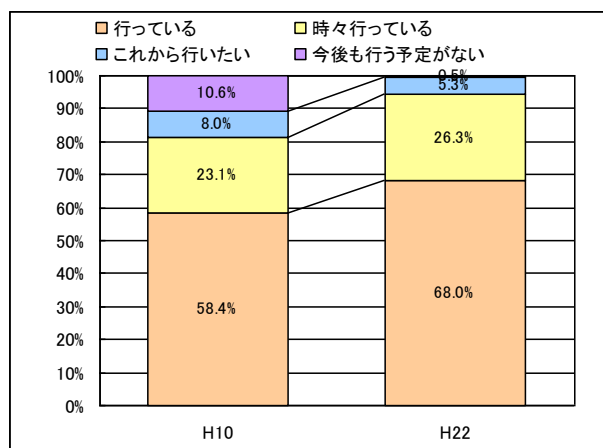
- ・⑥「ごみの分別」(91.9%)、⑦「エコバック」(88.1%)については非常に実践している率が高く、ごみの減量化に関する市民意識は高いが、⑧「過剰包装を断る」(59.9%)はこれらに比べるとまだ実践率は低い。
- ・①「近所に配慮して音楽など大きな音は出さないように気をつけている」(86.3%)についても非常に実践率が高い。
- ・「行っている」「時々行っている」の合計で見ると、②「節水」が93.3%、⑨「節電」91.6%も非常に実践率が高い。
- ・⑪「太陽光やバイオマスの利用」についてはまだほとんど普及していない。また、⑭の「自然観察会などの参加」についても率は低い。
- ・①、⑪を除き、年齢が高くなるほど実践している割合が大きくなる傾向にある。

【平成 10 年調査との比較】<sup>3</sup>

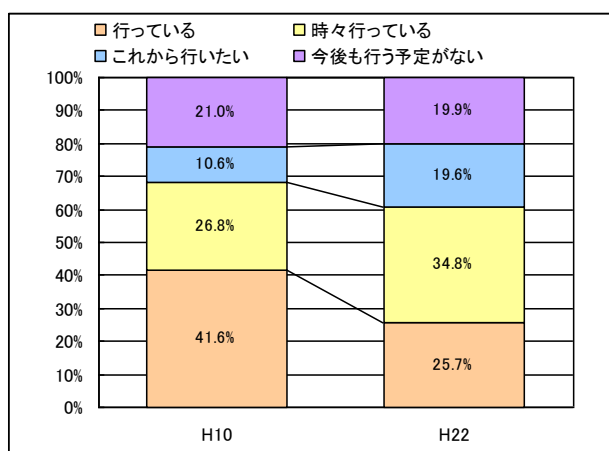
- ・平成 10 年と比較した場合には、環境への意識の高まりとともに、「行っている」「時々行っている」を合わせた割合では、概ねの項目で現在の方が取り組みを行っている。
- ・特に、エコバックの使用や過剰包装は断るといった身近に取り組みやすい活動については、積極的に行われている状況が明らかとなった。
- ・また、自然観察会等への参加については、「行う予定がない」から「これから行いたい」にシフトしてきている状況である。
- ・一方、モータリゼーションの更なる進展に伴って、車の利用増大やアイドリングストップの未実施であり、「これから行いたい」としている状況がうかがえる。



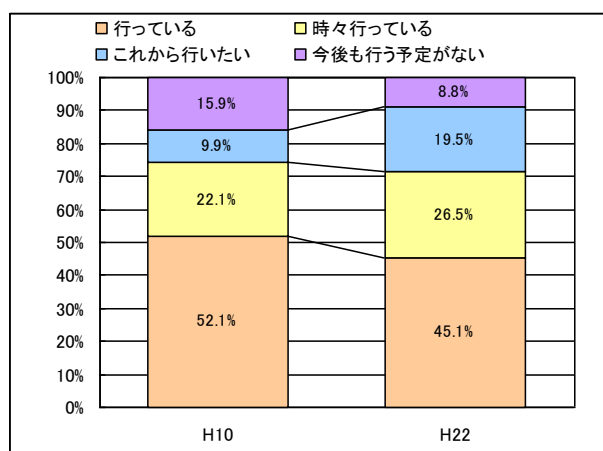
[大きな音は出さない]



[水を無駄にしない]

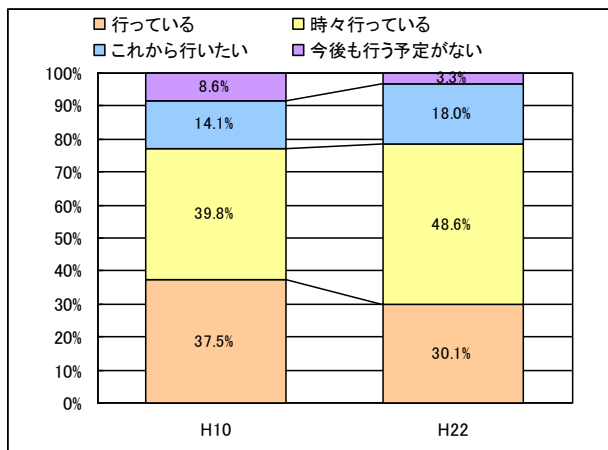


[自家用車の使用を控える]

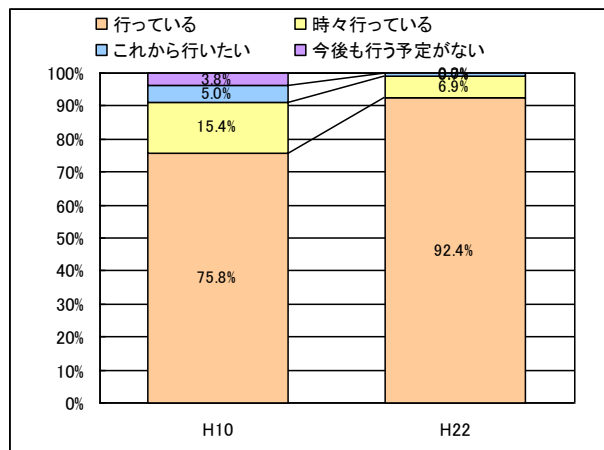


[アイドリングストップ]

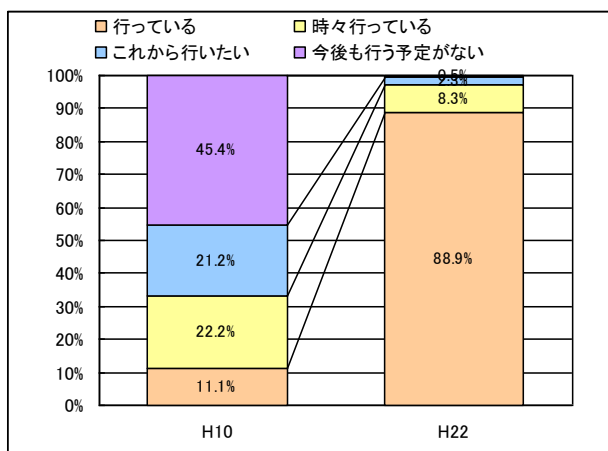
<sup>3</sup> 平成 10 年の調査と比較するため、「わからない」を除いて割合を算出している。



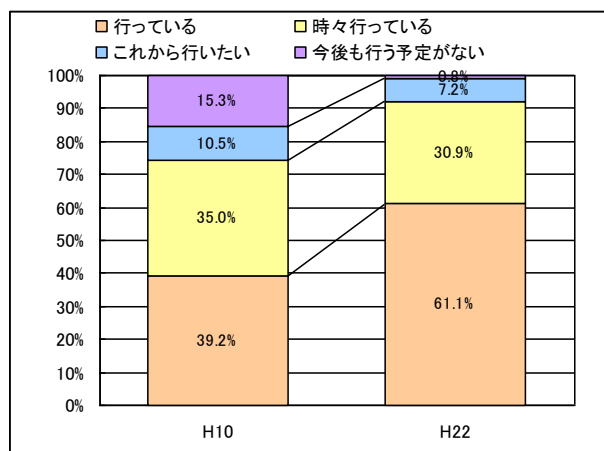
[エコ商品の選択]



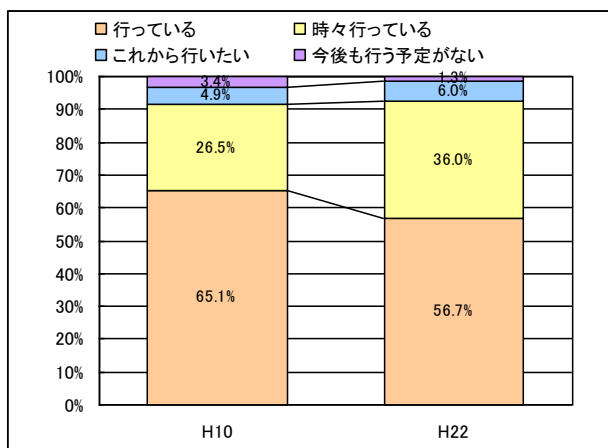
[ごみの積極的分別]



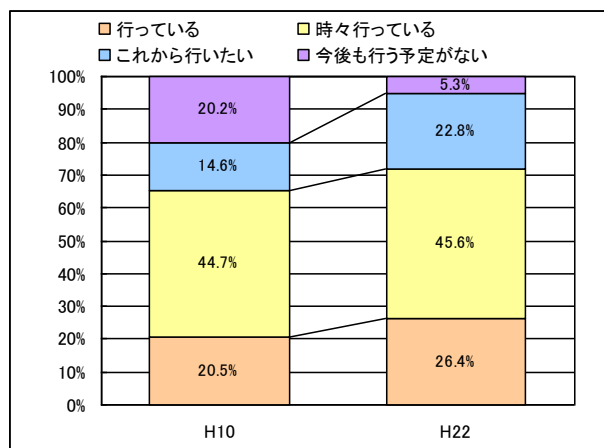
[エコバックの使用]



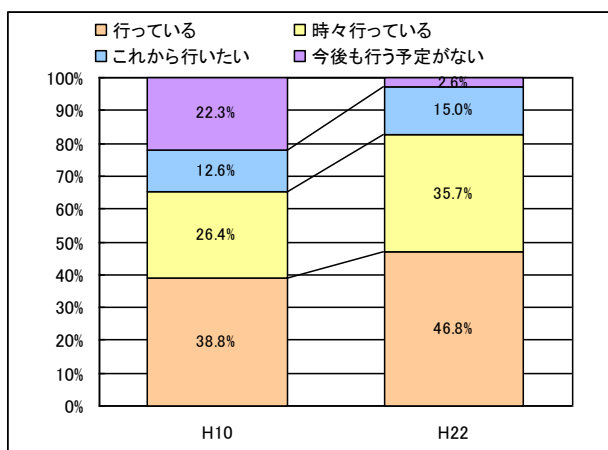
[過剰包装は断る]



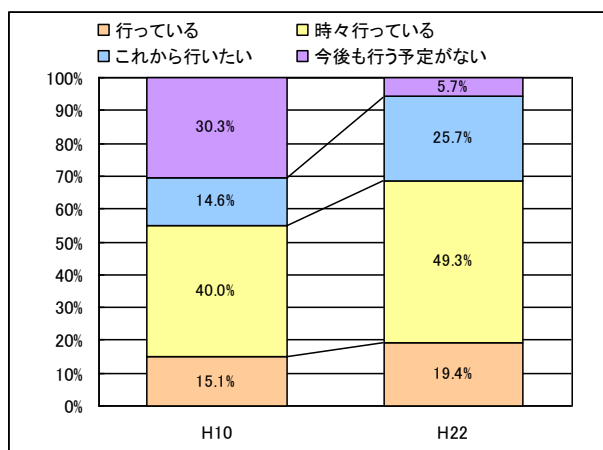
[省エネを心がける]



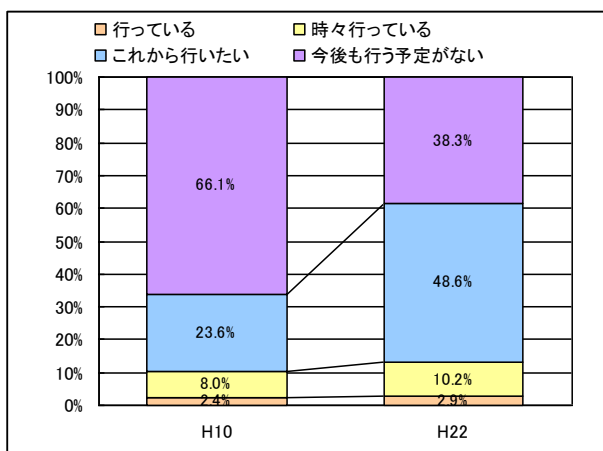
[休日は自然にふれる]



[地域の環境作りに協力]



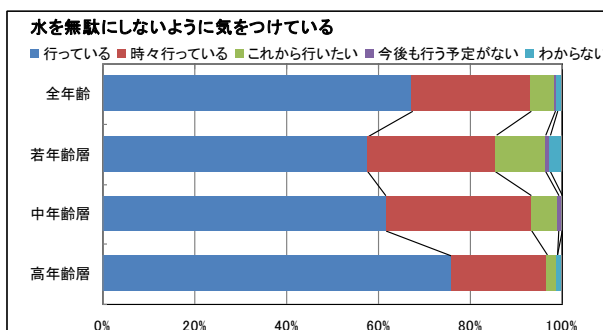
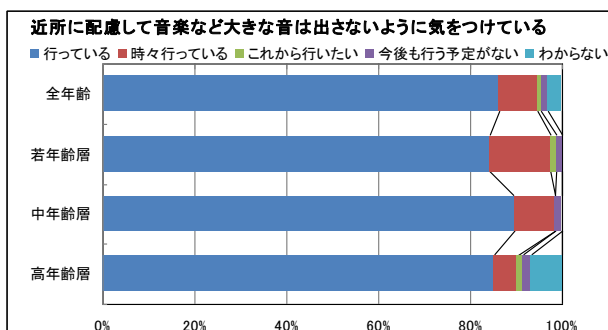
[環境問題を話題にする]

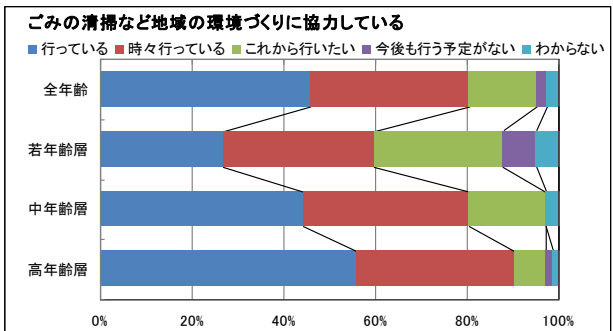
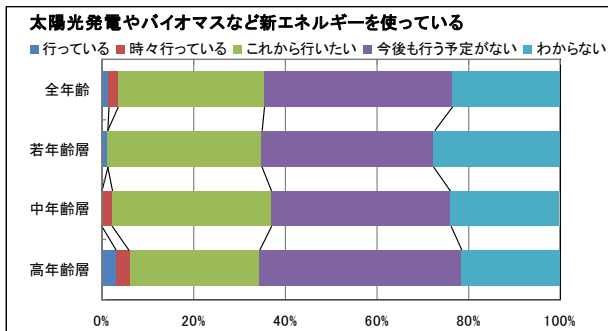
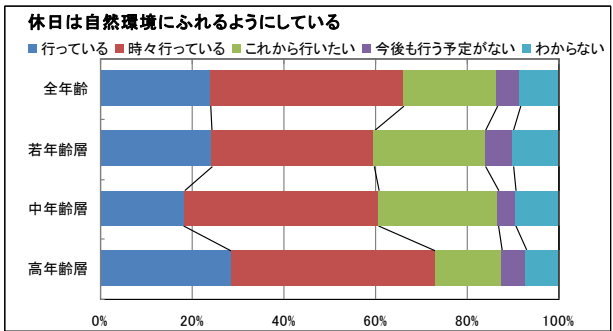
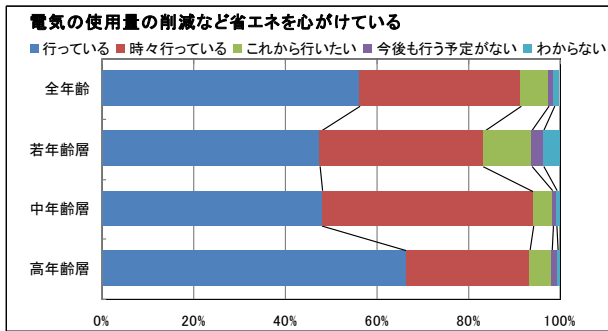
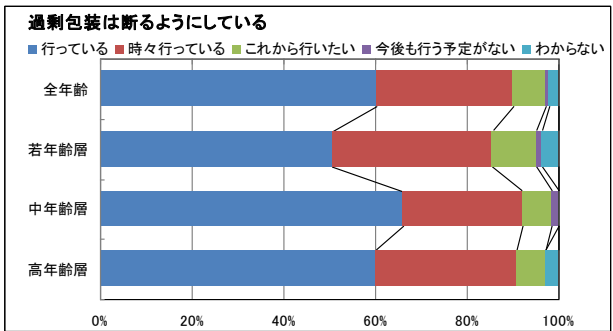
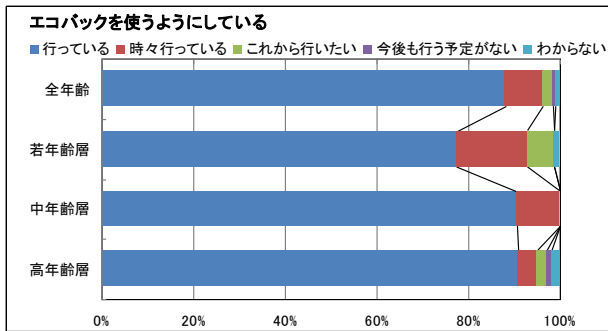
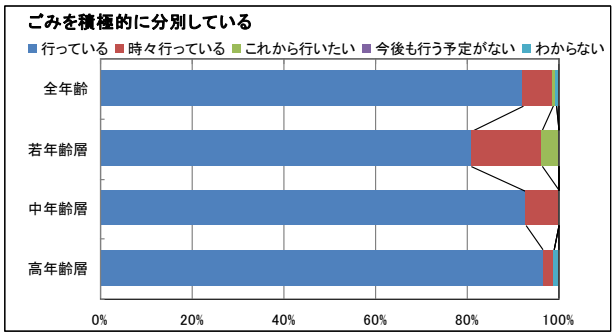
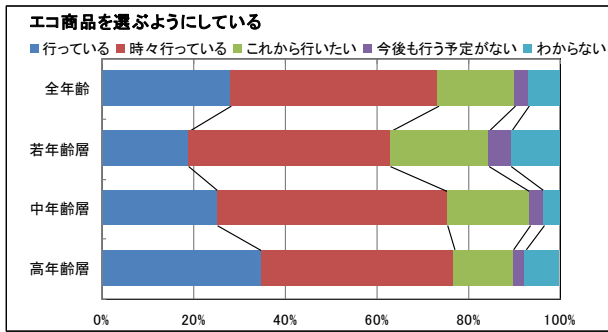
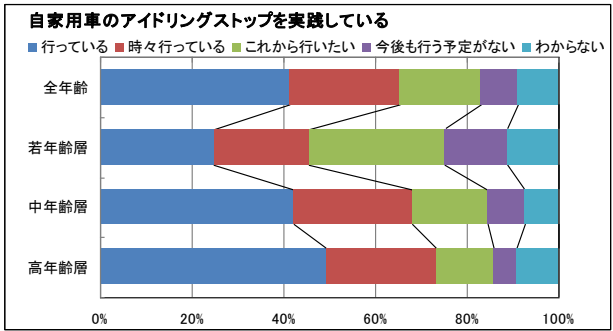
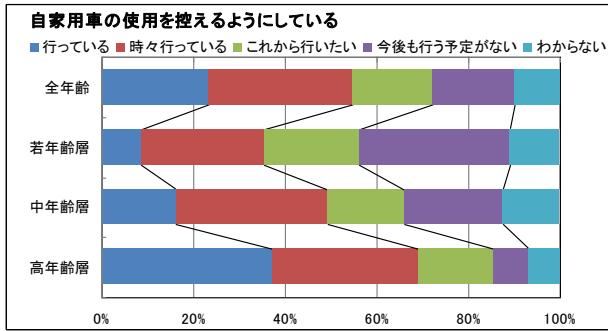


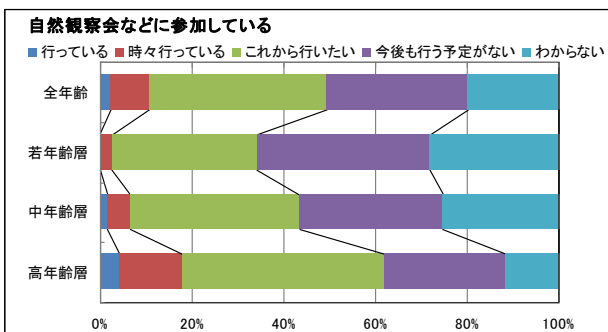
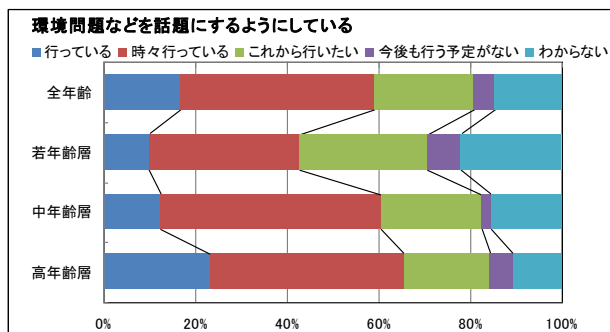
[自然観察会などに参加]

【年齢層別の状況】

- ・ 基本的には年齢が高くなるに従って、環境配慮行動が積極的に行われている。
- ・ ただし、エコバックや過剰包装については、中年年齢層が積極的に行っており、前述の10年前との比較とも連動している結果がうかがえる。
- ・ また、休日の自然とのふれあいに関しては、中年年齢層では取り組みが比較的消極的であり、3つの年齢階層で最も低い状況となっている。







質問6 あなたが「必要だ・関心がある・参加したい」と考える環境に関する情報や学習機会などについて上位3つまで選んで、回答欄に番号をご記入ください。また、⑧その他の場合は具体的内容をご記入ください。

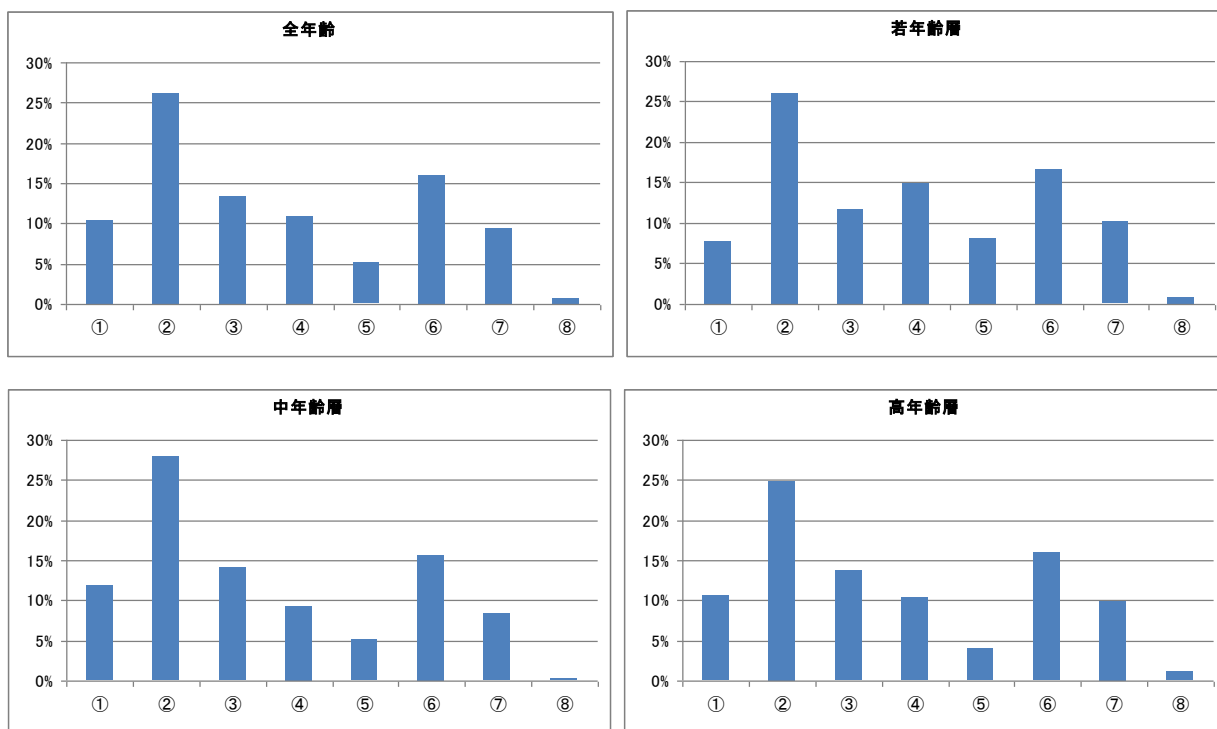
項目	1位	2位	3位	合計	割合(%)
⑥市民が取り組める環境に配慮した行動に関すること	47	83	95	225	21.5
②ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること	61	66	44	171	16.3
③地球温暖化に関する状況やその対策に関すること	56	57	54	167	16.0
④自然とのふれあいに関すること	33	63	48	144	13.8
⑦市の環境関連の調査結果や環境施策などの情報	38	31	62	131	12.5
①環境ホルモンやダイオキシンなどの有害物質に関すること	45	45	38	128	12.2
⑤野生動植物の保護、管理に関すること	11	35	26	72	6.9
⑧その他	4	0	5	9	0.9

- ・最も多かった回答は「市民が取り組める環境に配慮した行動に関すること」(21.5%)で、「ごみの減量化やリサイクルなど循環型社会に関すること」(16.3%)、「地球温暖化に関する状況やその対策に関すること」(16.0%)が続く。
- ・1位～3位までの順位付けを加味し、上位ほど重視するよう係数を乗じても上位3位までは順位に変化はない。
- ・「その他」の選択は非常に少なく、直接環境と直結しない意見などを含め14件の記載があった。

#### 【年齢階層別の状況】<sup>4</sup>

- ・全ての年齢階層で全年齢と同様に「循環型社会に関すること」、「環境に配慮した行動」に対する関心が高くなっている。
- ・中年年齢層及び高年齢層では、地球温暖化に関することが第3位に興味を持っているのに対し、若年齢層では、自然とのふれあいに関することが3位となっている。

<sup>4</sup> 年齢別に比較するため、1位を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして総合得点を計算し、割合を算出している。

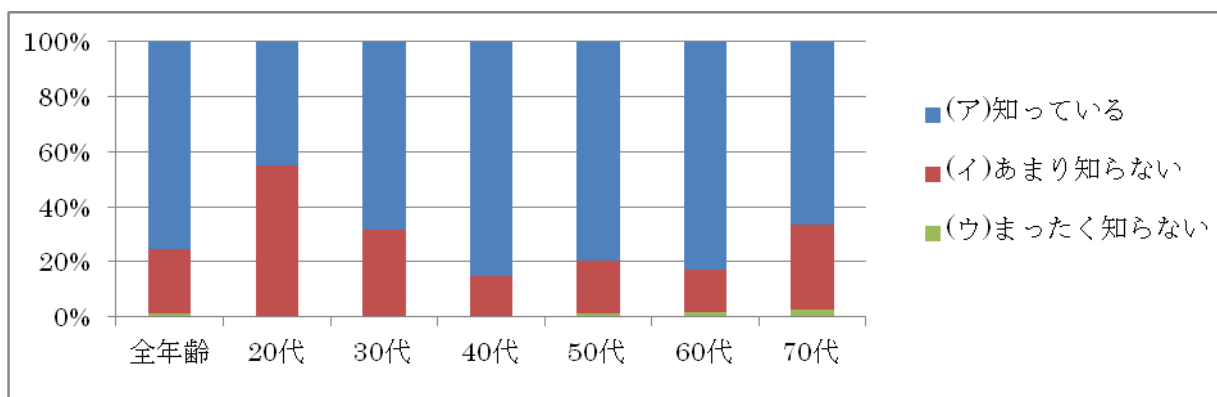


問7「地球温暖化」という言葉を、最近報道などでよく耳にされると思います。

- ① 地球の温暖化によって海面上昇や異常気象、生態系の変化など、環境にさまざまな悪影響が出るといわれていますが、その内容について知っていますか。(ア)～(ウ)であてはまるもの1つに○印をご記入ください。

項目	件数	割合 (%)
(ア) 知っている	309	75.0
(イ) あまり知らない	98	23.8
(ウ) まったく知らない	5	1.2

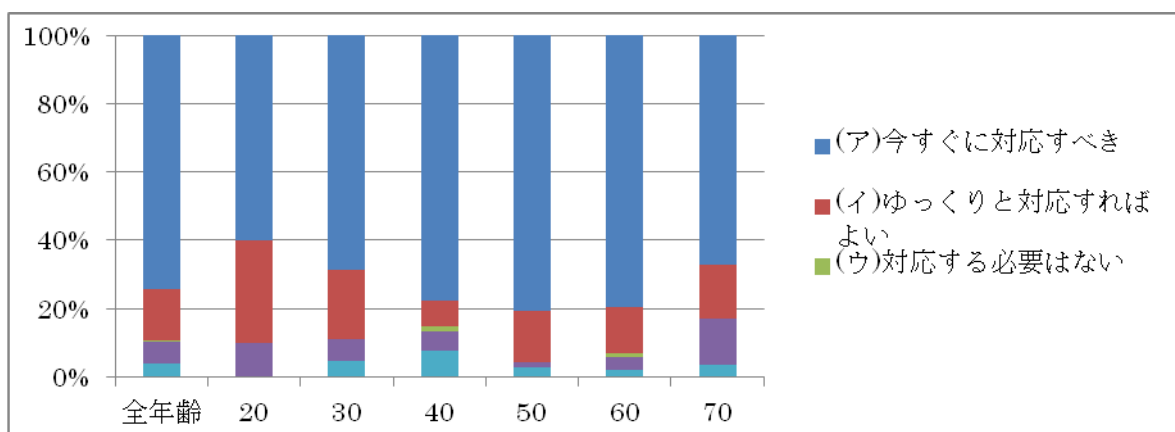
- ・温暖化とその影響については、75.0%が知っていると回答。「まったく知らない」は1.2%とほとんどいない状況で、「地球温暖化」という言葉は非常に身近な言葉となっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」と答えた割合は、20代が特に低く(45%)、これに30代(68.3%)、70代(68.4%)がともに低めの数値となっている。



- ② 地球温暖化防止の取り組みについて、私たちはどの様に対応すべきと考えていますか。下記(ア)～(オ)の中から一番近いもの1つに○印をご記入ください。また、その他の場合は具体的にご記入ください。

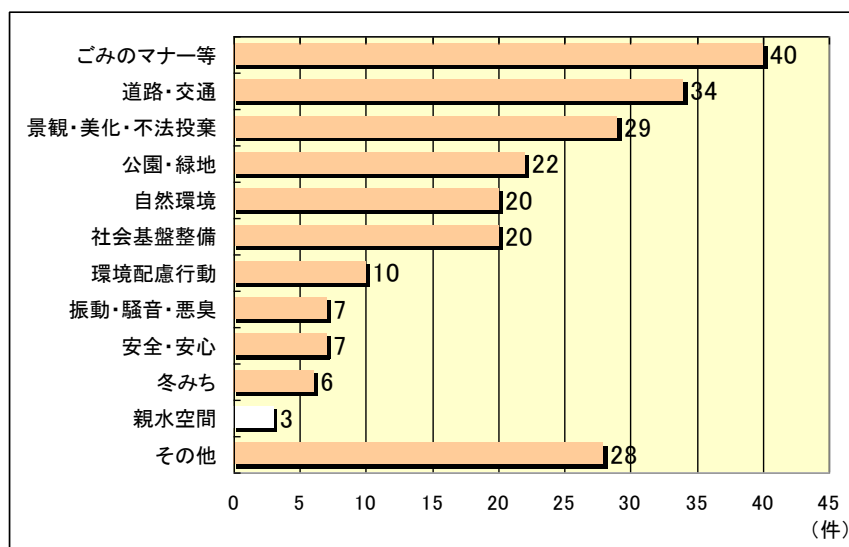
項目	件数	割合
(ア)今すぐに対応すべき	302	73.8
(イ)ゆっくりと対応すればよい	63	15.4
(ウ)対応する必要はない	2	0.5
(エ)わからない	27	6.6
(オ)その他	15	3.7

- ・「今すぐ対応すべき」(73.8%)が大勢を占め、「対応する必要はない」(0.5%)と考える市民はほとんどなかった。
- ・「その他」(記述10件)は「できることから実施すべき」「温暖化自体が疑問である」「日常生活の中から対応可能なことを示してほしい」などの意見があった。
- ・年齢別では①と同様に、「今すぐに対応すべき」が20代で60.0%と低く、続いて70代が67.0%とやや低めである。





質問 8 北広島市の環境について、あなたが思っていることや感じていること、ご意見などありましたら、ご自由にご記入下さい。



- ・フリーアンサーを項目分けした結果、ごみの分別やポイ捨てなどのマナーや処理体制などのごみに関連する意見・要望が多くなっている。
- ・また、道路・交通に関する回答も多く、特に公共交通の利便性向上を望んでいる意見が見受けられる。
- ・その他については、「良好な環境」や「色々と不満」といった記述が項目分けが困難な回答が多く含まれている。